

## ■地域づくり活動主体による主な資金調達手法

### ①行政からの助成金・委託費

：制度を活用した行政からの助成金や社会的事業に対する行政からの委託費用を収集する方法

### ②個人・企業・財団等からの寄附

：募金活動等により、個人や企業等から寄附金を収集する方法

### ③会員からの会費

：特定非営利活動促進法（NPO法）における会員等から会費を収集する方法

### ④投資家による株式・債券への投資及び出資

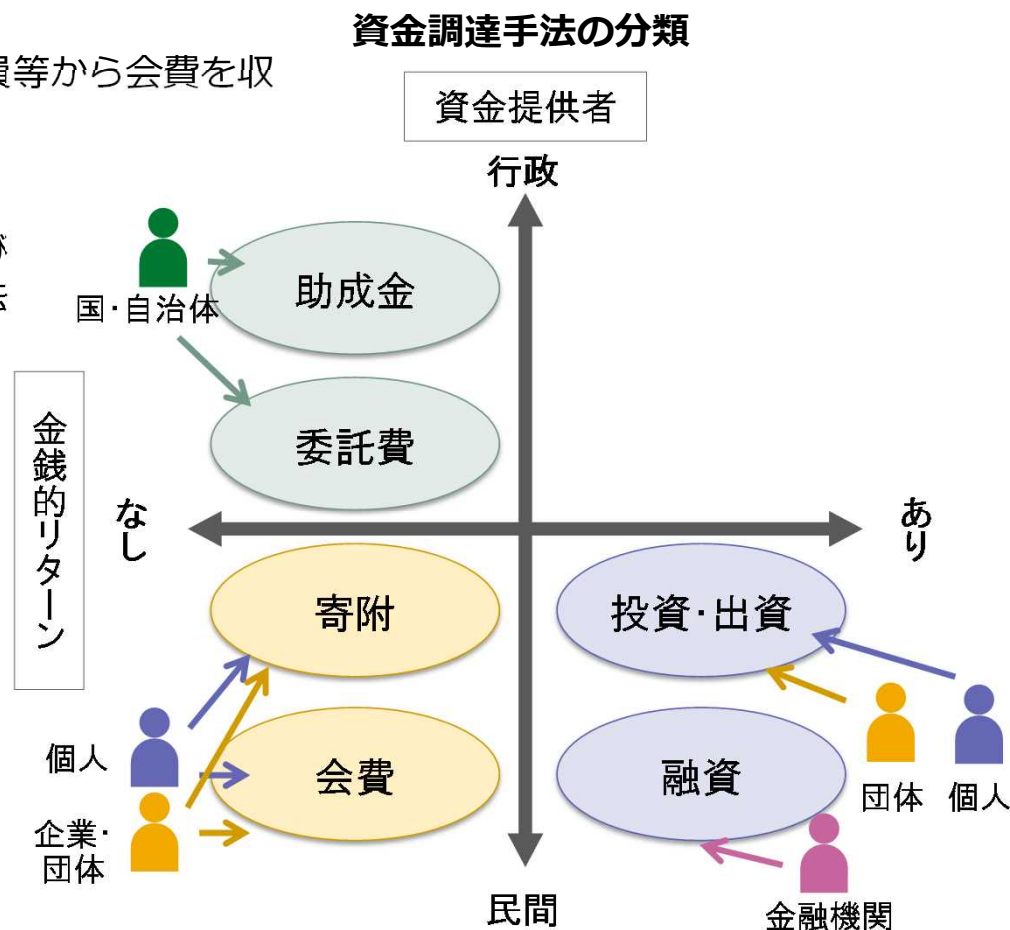
：株式会社の形態を有する社会的企業が株式及び社債を発行・発券することで資金を調達する方法

### ⑤金融機関等からの融資

：民間金融機関から借入を行い資金を調達する方法。昨今はソーシャルビジネス向けに無担保・無保証人でも利用可能な融資を行う金融機関も存在する。



**地域づくり活動主体には、行政・民間それぞれから多様な資金調達手法が存在**



# 新たな資金調達の動きについて

## ■地域づくり活動主体による新たな資金調達手法

### ①ソーシャル・インパクト・ボンド

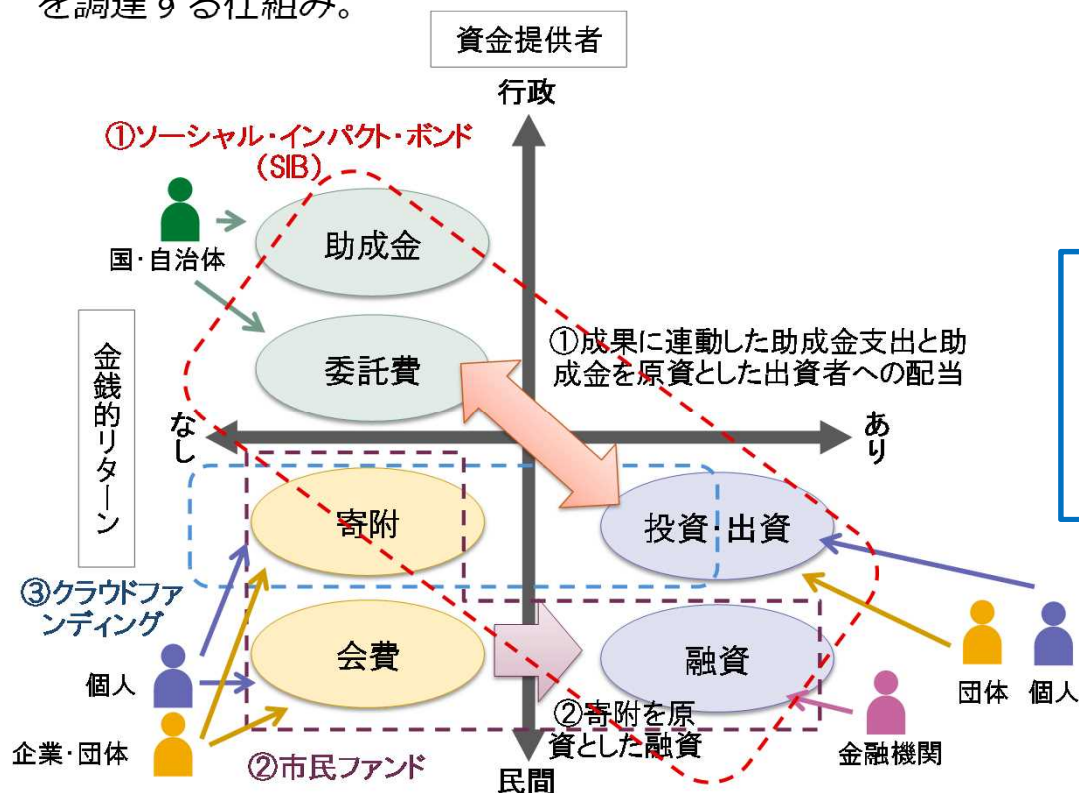
：官民連携による成果報酬型投資事業。地域づくりの活動主体は、最初に民間資金提供者から出資・寄附により資金を調達し、成果に応じて最終的に国・自治体から補助金を資金提供者に支払う仕組み。

### ②市民ファンド（NPOバンク・コミュニティ財団等）

：市民や地域企業から集めた寄附中心の原資を公益性・公共性の高い事業や活動に分配するもしくは、低金利で融資することで、活動主体の資金調達を促す仕組み。金融機関よりも低金利な場合が多い。

### ③クラウドファンディング

：不特定多数の人々から、インターネットを介してNPO等の活動主体が寄附や投資を募ることで、事業資金を調達する仕組み。

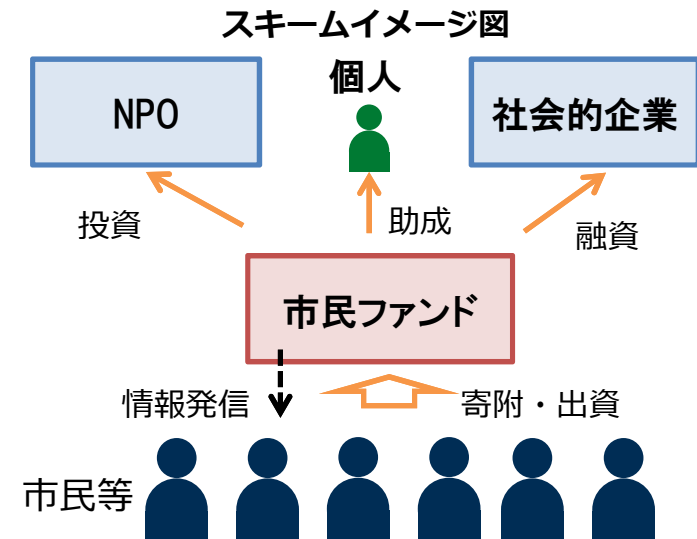


活動主体の資金調達手法については、既存の手法を組み合わせ、資金提供者に対し寄附や投資をより促す仕組みが広まりつつある。

# 市民ファンドの概要

## ■市民ファンドの基本的な仕組み

- \* 市民・企業から社会的事業や活動に対して資金を収集し、NPO等の活動主体に対して分配・投融資する
- \* 資金提供に限らず、NPO等の活動主体の運営に対して助言や協働を通して支援を実施する
- \* 市民から出資された資金には配当がつかない等の非営利性に基づく制限が課される場合がある



## ■市民ファンドの種類

### ①NPOバンク（任意団体）

- \* 市民の出資金を原資としてコミュニティや福祉、環境問題等の特定の分野に取り組むNPOや個人へ融資する仕組み（銀行法上の貸金業に当たらないため預金機能はなし）
- \* 元本保証はなく、原則配当なし。事業の趣旨に賛同する市民等が組合員として出資し、低金利で融資
- \* 市民は、特定の分野に分野や社会的事業のために可視的に拠出金が運用される点に共感を得やすい

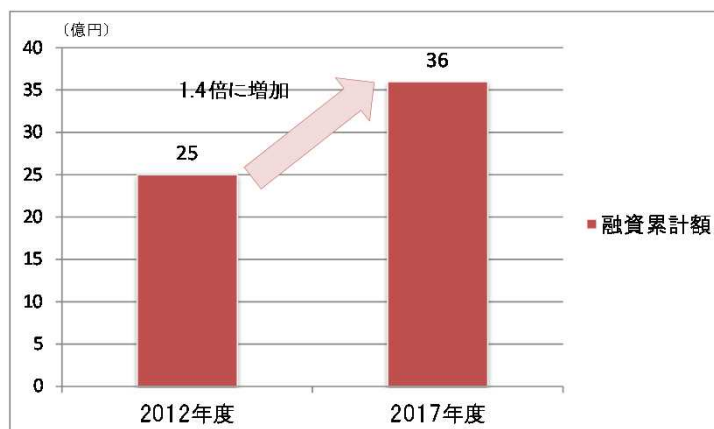
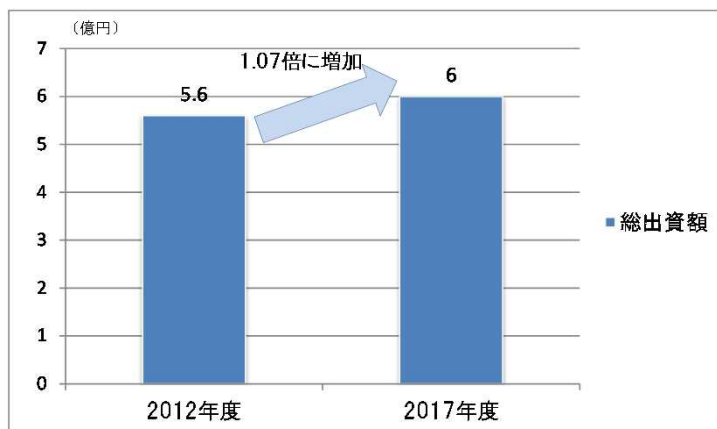
### ②コミュニティ財団（公益財団）

- \* 企業や市民から寄附を募り、コミュニティの市民の運営によってNPO等に地域密着型の資金配分（助成）を行う仕組み
- \* 分野問わず、コミュニティの発展・改善に資する活動に対して助成する点がNPOバンクと異なる

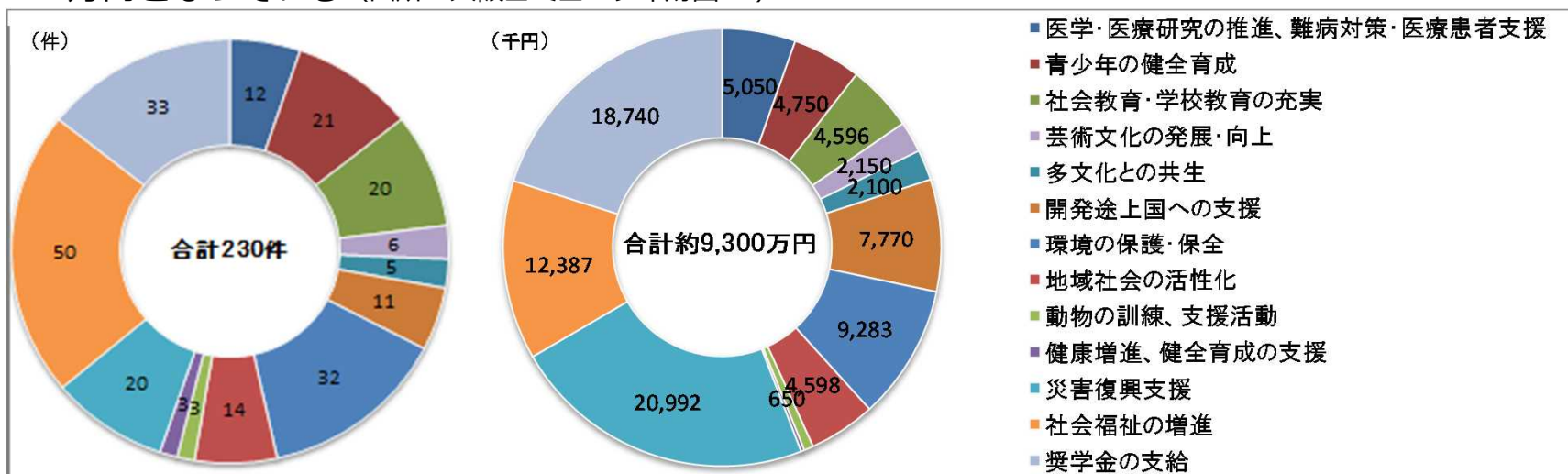
# 市民ファンドを取り巻く概況

## ■市民ファンドの浸透

\* 全国のNPOバンクは15機関であり、2012年における支援者からの総出資額は約5.6億、融資累計額2012年の25億円であったが、2017年3月には総出資額約6億円、融資累計額36億円まで拡大  
(出所：全国NPOバンク連絡会 ※当連絡会定義に基づく)



\* 国内最大規模の大阪コミュニティ財団における2017年度助成状況は、230件、助成総額は約9,300万円となっている (出所：大阪コミュニティ財団HP)



# 市民ファンドを活用した地域づくりの事例

## ■ コミュニティ・ユース・バンクmomoと瀬戸信用金庫の連携による地域活動主体への融資拡大

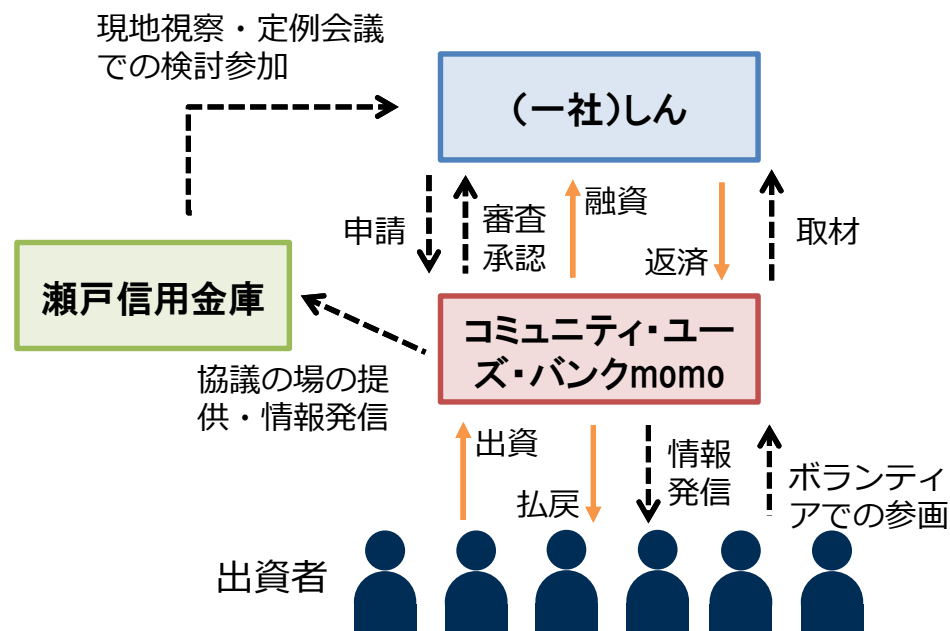
### ○ 事業概要

- \* NPOバンクである「コミュニティ・ユース・バンクmomo」は、地域金融機関職員が職業上持つ知識などを活かすプロボノプロジェクトを実施
- \* 「(一社)しん」は、プロジェクトを通して、精神・発達障害を持つ方の支援を行うための施設の開設資金として、「コミュニティ・ユース・バンクmomo」の融資を活用し、同時に、瀬戸信用金庫の職員が6ヶ月間継続的にプロボノ支援を受入れ
- \* 瀬戸信用金庫が「(一社)しん」の事業推進を協働し、事業内容に対する理解が進んだため、NPOバンクの融資を通して信金から新たな施設開設資金の融資を行うことにつながった

### ○ 地域にもたらされる効果

- \* 市民バンクにより、無担保・無保証での融資が可能  
⇒民間金融機関とは異なる審査基準のため、高リスクでも社会的意義の大きい事業の存続可能性向上へ
- \* 金融機関職員の地域づくり活動主体への参画機会の増加  
⇒
  - ・財務面等のノウハウを持つアドバイザーの参画により、地域づくり活動主体の体制強化
  - ・地域づくりの活動事業への理解の深化
  - ・他の地域づくり活動に対する融資の可能性拡大

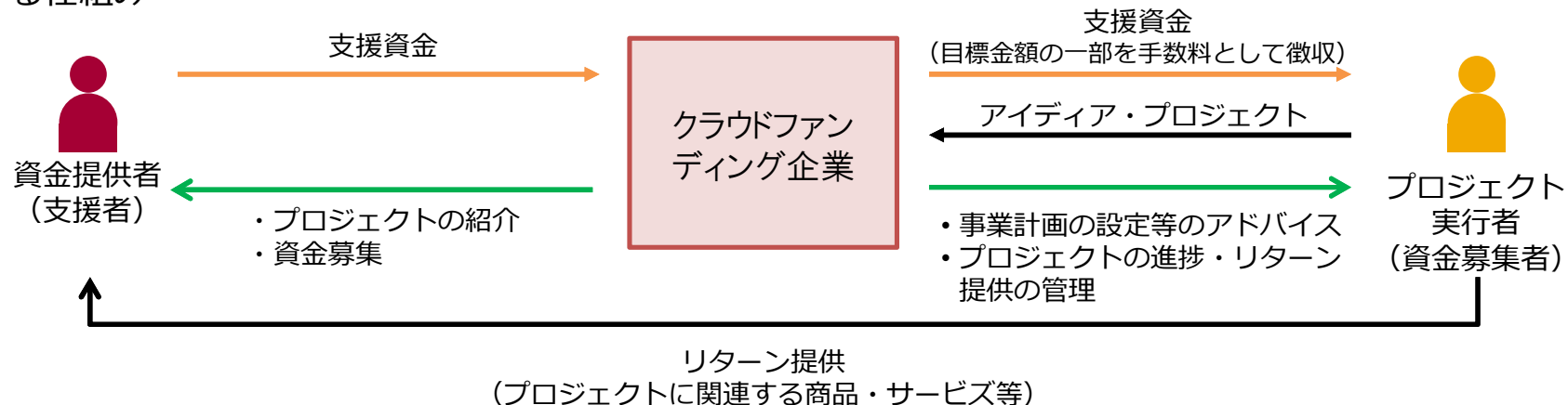
### ○ 事業スキームイメージ図



# クラウドファンディングの概要

## ■クラウドファンディングの基本的な仕組み

個人や企業、その他の機関が、インターネット活用したプラットフォーム（クラウドファンディング企業）を介してプロジェクトを紹介して支援金を募集し、それに共感・賛同する人から広く資金を集める仕組み



## ■クラウドファンディングの種類

- \* リターンのない「寄付型」、金銭以外の物品や権利をリターンとして提供する「購入型」、金銭をリターンとする「金融型（融資型・株式型・投資型）」に分類される

## ■クラウドファンディング活用のメリット

### 支援者

- \* 少額の出資で社会貢献が可能
- \* リターンの受け取りが可能
- \* ときに、公表前の新規商品を利用可能

### 募集者

- \* 担保なしで資金調達が可能
- \* 活動・商品のPR及びファン獲得が可能
- \* テストマーケティングによるニーズ把握が可能

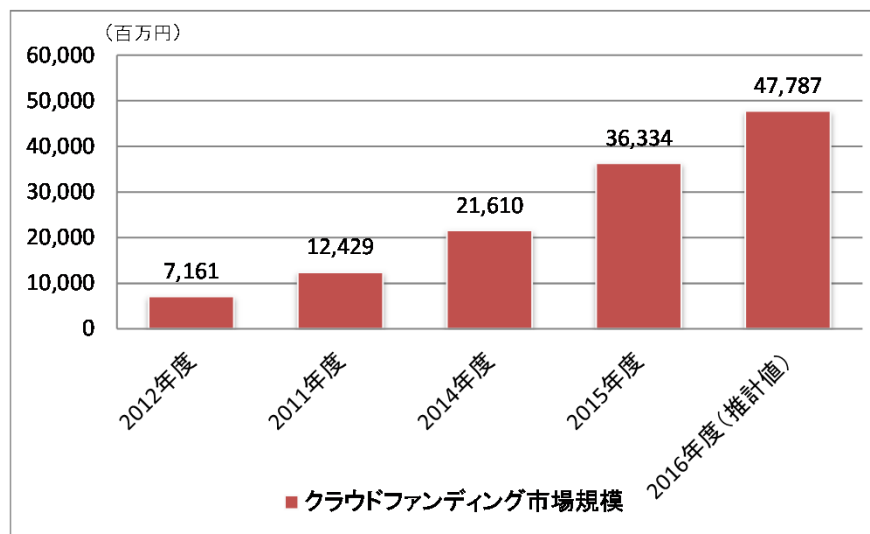
### 地域

- \* 地域外からの資金流入により、地域づくり主体の活動活発化と地域活性化へつながる

# クラウドファンディングを取り巻く概況

## ■クラウドファンディングの浸透

- \* クラウドファンディングの市場規模は2012年度の約71億円から2016年度には約477億円まで成長（出所：矢野経済研究所）
- \* 国内発のクラウドファンディング企業であるREADYFORでは、2011年には1,000万円だった支援金が27万人から42億円以上を集めるなど浸透しつつある（出所：同社HP 2017年4月時点）
- \* 資金調達に向けた伴走型支援等のサービス拡充により、資金調達者は中学生から80代まで幅広い年齢層まで拡大



## ■クラウドファンディング案件の特徴と浸透層の関係

|           | 寄附型  | 購入型   | 金融型                            |
|-----------|--|---|--------------------------------|
| 主な資金提供先   | 被災地、途上国等の個人、小規模事業等   | 被災地支援事業、障がい者支援事業、音楽・ゲーム・家電制作事業等を行う事業者等                            | 音楽関連事業、被災地支援事業、食品、酒蔵、衣料品製造事業者等 |
| 資金調達規模    | 数万円程度  | 数万円～数百万円程度  | 数百万円～数千万円程度                    |
| 1人当たりの投資額 | 一口1円～  | 一口1,000円程度～   | 一口1万円程度～                       |
| 案件の特性     | 案件組成目的・内容への共感に基づく資金提供が主となるため、社会的意義が明確で、身近に感じる規模感の案件が多くなる傾向あり |   | —                              |
|           | —  | 物品リターン・5～10%程度の高利回りの金銭的リターンが必要なため、収益率が高く、利益にリターンを充当できる案件が多くなる傾向あり |                                |

少額支援が可能かつ社会性が高い一方で、金銭的リターンがないため、社会貢献意欲の高い層へ浸透拡大

高い利回りや物品リターンが期待されるため、投資・投機意欲の高い層へ浸透拡大

# クラウドファンディングを活用した地域づくりの事例

## ■ READYFORと北都銀行（秋田）の連携による伝統文化の発信拠点整備

### ○ 事業概要

- \* 秋田の伝統文化である「川反芸者」の復活をめざし「あきた舞妓」の育成・派遣を行う「(株)せん」は、北都銀行に対して旧旅亭を活動拠点として再活用する事業を提案
- \* 「収益を目的としない事業」・「実績がなく融資が難しい事業」等に対して、北都銀行が顧客を紹介し、クラウドファンディング企業であるREADYFORが資金調達する業務提携を実施
- \* 北都銀行は、活動拠点のリノベーションに係る資金調達のために、「(株)せん」に対してクラウドファンディング活用を提案するとともに、無担保・無保証にて融資を実行

### ○ 地域にもたらされる効果

- \* クラウドファンディング活用により、域外から文化財への再整備資金が流入  
⇒共助による歴史的建造物の保存・活用、伝統文化の継承、担い手の増加へ
- \* クラウドファンディング企業と地域金融機関の連携により、資金調達のための伴走型支援サービスを強化  
⇒東京拠点企業が遠隔地企業に対して不足しがちなきめ細やかな事業推進にかかるアドバイスを、金融機関を仲介することで実現
- \* クラウドファンディングを通じた新たな観光コンテンツの創出、事業へのファンづくり  
⇒秋田の魅力向上により人口増加・地域活性化へ

### ○ 事業スキームイメージ図

- \* 行政・クラウドファンディング企業・地域金融機関が連携した活動拠点の整備

